

2010年12月7日

J X日鉱日石エネルギー株式会社 東北支店
支店長 田中 慎二 様

青森県生活協同組合連合会	会 長	井筒 智義
秋田県生活協同組合連合会	会長理事	大川 功
岩手県生活協同組合連合会	会長理事	加藤 善正
宮城県生活協同組合連合会	会長理事	齋藤 昭子
山形県生活協同組合連合会	会長理事	岩本 鉄矢
福島県生活協同組合連合会	会 長	熊谷 純一

(公印省略)

家庭用灯油に関する要望書

御社におかれましては益々ご隆昌のこととお慶びを申し上げます。また平素はご厚誼を賜り御礼を申し上げます。

現在 WTI 原油は、1 バレル 81~87 ドルの高値で推移しており、さらに高騰していく勢いです。08 年、09 年と私たちを苦しめたような「投機マネー」流入による憂慮すべき状況となっています。しかし一方で、円相場は、15 年半ぶりの高値を更新し続け、10 月の月間平均は 1 ドル 82 円台になり、戦後の最高値となりました。円高が進み始めた 5 月以降から見ると実に 10 円を超える円高です。

こうした情勢の中では、原油は輸入した円建てでの価格（C I F = 運賃・保険料込み到着値）で考えるべきで、C I F 価格は昨年同等かむしろ下がっています。しかし、灯油 1 缶 18 ㍓の配達価格は、昨年 1200 円台だったものが、今年は 1,400 円台の価格となっており、今後さらに上がる見込みです。C I F 価格が下落基調の中、円高差益還元がないばかりか、元売会社からの仕切りはなぜ上がるのでしょうか納得できません。ガソリン・軽油・灯油の中で、灯油の仕切りが最も高い状態であることも、寒冷地に住むものや生活弱者などのくらしを圧迫しています。

灯油在庫についても心配です。11 月 20 日時点の在庫は 264 万 k l と、前年より 49 万 k l 減、昨年の 313 万 k l の 8 割程度という状態です。寒気が強まり、需要も本格的になってきたこの時期に、この水準の在庫で本当に大丈夫なのでしょうか。昨冬にも在庫量について要請をしたときは大丈夫というお答えでしたが、実際は 4 月には品薄から仕切り価格の上昇がありました。

不安な気持ちのまま需要期を迎えようとしています。組合員の生活を守る立場から御社に対して下記のことを要望します。

記

- 1、円高差益が速やかに仕切り価格に反映されるようお願いいたします。特に北国の『必需品』である灯油が、他油種より高い状況は是正されるべきです。
- 2、私たちが安心して生活するために、冬季間の灯油は適正な価格、安心できる在庫水準が必要です。灯油が生活者の必需品であることを踏まえ、需給をタイトに維持する計画を絶対にとらず、適正価格が維持されるよう企業努力を強く要望します。

以上